

極秘

昭和八年五月に於ける
外事警察関係要
歐米關係

内務省警保局

大正六年

労働争議概況

内務省警保局

大正十五年一月
社会運動目録第十三號

廣く労働界各方面意高感増
策ニ對スル

警保局保安課

警保局長

昭和八年五月(各廳府課提出)

共產主義運動
對策ニ關スル意見要旨

内務省警保局

秘密檔案

日本共産黨宣傳機關
追加第一

昭和三年五月三日
警視廳特別高等警察課

●編集・解題 萩野富士夫

特高警察関係資料集成

全30卷

別冊1

不二出版

●推薦 今井清一 / 奥平康弘 / 松尾尊允 / 由井正臣 / 渡部徹

●全11回配本全30巻・別冊1揃価775,000円(本体価格) / 別冊「特高警察関係資料解説」・本体価格25,000円(分売可)

戦前の特高警察に関する基本・重要資料を収集…復刻成る!

特高から見た社会運動の報告書類を集大成

今井清一

横浜市立大学名誉教授

先年、神奈川県立文化資料館が古書展に出た特高警察関係のかなりまとまった文書を購入し、私がそれを紹介したことがあった。一九三五（昭和一〇）年一月に着任した石田馨神奈川県知事の時期のものが中心で、翌年の二・二六事件直後に警視總監に転出してからの軍関係の動きや人民戦線運動に関するものも含まれていた。これには「事務引継書」など県段階での特高警察の構成・活動に関するものや、特高が収集した情報類など、ほかには見られないものが多く、いろいろと興味があった。情報類には、現場の状況や入手先の事情などが記録されていて、迫力があつた。それは特高警察の現場で作られた生の文書の面白さであるが、他面では、いわゆる聞き込みの類だけに、利用には慎重さが必要となる。もともと、石田元知事の令息の石田雄教授の話では、警視庁の調査はこれどころではないよとのことだつた。

デモクラシーの徹底と社会主義をめざす諸運動が芽吹き始めた時期に、これらの運動を監視し、取締ろうとした特高警察関連の資料は膨大で、内外各地に散在しており、あまり知られていないものも多い。今回刊行される資料集成は、これらを広く収集整理して、特高警察の構成と活動ぶりを明らかにするとともに、特高から見た社会運動の報告書類を集大成しようとしている。取締りにあたつた官憲の側からの、しかも多様な資料で、取扱いには十分な配慮が必要である。『特高警察体制史』で精密な分析ぶりを見せた荻野富

士夫氏が編集解題にあたられるので、資料の性格付けや評価なども含めて、安心して活用できるものになるだろう。

現代日本研究の対象としての特高警察

奥平康弘

国際基督教大学教授

ひとの思想・信条、出版・結社など市民のおよび政治的な自由の諸相に深く干渉することを仕事としてきた特高警察は、疑いもなく戦前日本の本質的部分を構成する。いや、そういう権力作用を許してきた、あるいは必要としてきた日本社会のありようは、形を変えてではあるが、今なおどこかにちゃんと生き残っているかもしれない。日本の特高警察は、単に歴史研究としてだけではなくて、存外に現代も含めた日本研究の対象としても、重要性を持っていると思う。

特高警察は、共産主義・社会主義の取り締まりを本流としたが、けつしてそれにとどまらない。体制にかかわる、あらゆる市民の動向が監視され規律された。労働者・農民運動、水平運動、在日朝鮮人、外国人・在外日本人などのうごきはもちろん、いろんな文化運動も視野に入り統轄された。その関係するところ大である。逆にいえば、特高警察の研究は、いろんな学問分野でなされるべきであり、それにかんする資料は、多角的に活用されるべきものとして価値を有する。

特高警察は秘密裡になされるべきことを特質としたから、これにかんする情報は戦前はけつして公開されることがなかった。戦後は関係者らが自らの責任を免れるために、極

力焼却その他の処分をしてしまった。情報環境が最も劣悪なところの一つである。

それでも、関係研究者らの努力で、隠され散逸した文書・出版物が徐々に白日のもとにさらされるようになり、多かれ少なかれ市販性のあるものは復刻されてきている。戦後のある時期に比べたら、情報状況の改善には驚くほどのものがある。こうして、警察当局が定期的に、もしくは比較的体系的に配布した報告書その他の文書はあらかた、なんらかの形で接近できるようになっている。

しかし特高警察のはたらきは広範で多岐にわたる。とくに個別の文書処理、地方組織での取り組みなどのレベルでは、発掘されるべきものがなお残っているに違いない。今度の『特高警察関係資料集成』は、この点できわめて重要である。山岡万之助文書の活用といった新機軸もさることながら、各種の掘り出し物がある。また、各コレクションのなかに散在する特高警察関係資料の選抜収集も利用上便利である。学界のために、この刊行企画を慶びに思うゆえんである。

社会運動研究資料の宝庫

松尾尊亮

京都橋女子大学教授

反国家・反政府運動の抑圧と取締を使命としてきたわが国の特高警察に関する資料は、社会運動研究に不可欠の資料である。もちろんこれらの資料は特高警察の使命に沿って作成されたものである以上、運動の実態を必ずしも正確に把握しているとはいえず、利用に際しては批判的処理が必要であるが、運動側の資料が保存されにくい事情を考慮すれば、史料としての重要性は減少することはない。

『特高警察関係資料集成』内容見本

原寸大

★四面付方式（原本を約60%縮小し、4頁を複製版1頁に面付します）。

昭和三年四月三十日調

北海道ニ於ケル日本共産党事件顛末



北海道廳特別高等課

目次

序

第一章 日本共産党事件捜査ノ状況

一、第一期捜査

イ、特別一斉捜索隊ノ編成及其活動

ロ、逃走者ニ對スル手配

ハ、海外脱走者ニ對スル警戒

ニ、第二期捜査

三、取調結果

第二章 日本共産党活動ノ状況

一、組織

イ、入黨勧誘

ロ、宣傳機関紙ノ發行

ハ、地區代表者會議ノ開催

ニ、フラクション運動

三、運動資金

四、解散三団体ト日本共産黨ノ関係

五、社會科學研究団体

第三章 日本共産黨檢挙後ノ状況

一、殘黨ノ現状

ニ、三団体解散後ノ策動

第四章 今後ノ對策

一、日本共産黨治安維持法違反事件對策

ニ、社會運動對策

三、警察施設ノ改善

附録

第一號 日本共産黨事件捜査隊一覽表

第二號 日本共産黨事件家宅捜索個所一覽表

第三號 日本共産黨事件押収品一覽表

第四號 日本共産黨事件被告人及被疑者一覽表

第五號 日本共産黨組織一覽表

第六號 日本共産黨加盟者一覽表

第七號 日本共産黨事件中心人物供述大要

これまで特高関係の取締・視察の年次報告書の主要なもの、たとえば『社会主義者沿革』、『特別要視察人状勢一斑』、『社会運動の状況』、『特高月報』、『労働運動年報』、『出版警察報』等々はすでに複製され、研究者に大きな便益を与えてきた。

ところが、これ以外の膨大な個々の事件別、地方別特高資料は、部外者には存在が知られず、しかも大半は敗戦に際し内務省や各特高警察部で焼却処分付され、辛うじて残ったものの多くが占領軍に押収されてアメリカの国立公文書館や議会図書館の所蔵に帰し、一部が日本国内の図書館や個人の手に許に散在することになった。鈴木茂三郎氏所蔵資料が『社会文庫叢書』の中に収められた以外、これらはほとんど複製されていない。

大著『特高警察体制史』において、社会運動抑圧取締の構造と実態をはじめて包括的に明らかにした荻野富士夫氏が、研究の過程で所在をたしかめたおびただしい資料を、今回、全三〇巻にまとめて複製されるのは、これまでアメリカから取寄せたマイクロ・フィルムを瞳をこらして読み取ったり、各地の図書館を、カメラを持って訪ね歩いたりしてきた研究者にとっての一大朗報である。日本社会運動史研究の飛躍的発展の基礎をつくる企画として推薦したい。

天皇制国家の特質を明らかにする資料群

由井正臣

早稲田大学教授

特高警察が設置されたのは大逆事件後の一九二一（明治四四）年で、解体されたのは敗戦から二カ月もたった一九

四五（昭和二〇）年一〇月であった。この三五年間に、特高警察は数次にわたる大拡充をおこない、日本社会のすみずみにまで吸着しながら、共産主義・社会主義運動をはじめ、のちには自由主義的思想・言論、さらには朝鮮独立運動などの監視・取締り・弾圧をおこなってきた。そのため、特高警察はあらゆる手段を用いて、これらの諸運動の情報を収集してきた。これらは、極秘資料として刊行され、膨大な量に達している。それらのうち、比較的系統的に編集整理された『社会運動の状況』、『特高月報』、『特別高等警察資料』、さらには『特別要視察人状勢一斑』等を編集した『社会主義沿革』（続・現代史資料）等は複製・公刊され、研究者をはじめ多くの人びとに利用され、社会運動研究の前進に大きく寄与してきた。

今回、企画編集される『特高警察関係資料集成』全三〇巻は、前記の編集資料とはいささか異なり、個々の運動・事件に関する直接的な資料を多数含んだものを運動分野別に編集し、また特高警察の機構・実態を示す極秘資料も多く収められている。ここに盛り込まれた資料群は、特高警察の体制と機能をその形成から解体にいたるまでの全過程を、はじめて体系的にあきらかにした『特高警察体制史』の著者荻野富士夫氏が、長い年月を費し、各種所蔵機関を精査した結果あつめられたものである。荻野氏に比較的近いところにあつて氏の資料調査を見てきた私も、今回の『特高警察関係資料集成』の収録資料リストを一覧するに及んで、その内容の豊かさに驚きを禁じえない。

これらの資料は、従来公刊された資料を補うばかりでなく、近代日本の社会運動とそれを抑圧した天皇制国家の特質をあきらかにするうえで不可欠の資料群となることを確信している。

「特高警察体制」の全体像 解明に新たな地平を拓く

渡部 徹

京都大学名誉教授

周知のように、一九八五年よりのゴルバチョフによるペレストロイカ政策により、ソ連・東欧諸国は激動し、共産党の一元独裁や管理的指令的社会主義計画経済は諸悪の根源として糾弾されている。

これに伴い、わが国においても、共産主義・社会主義運動とその思想は否定的に評価されるようになり、もはや研究の対象たりえないとする風潮を強めている。

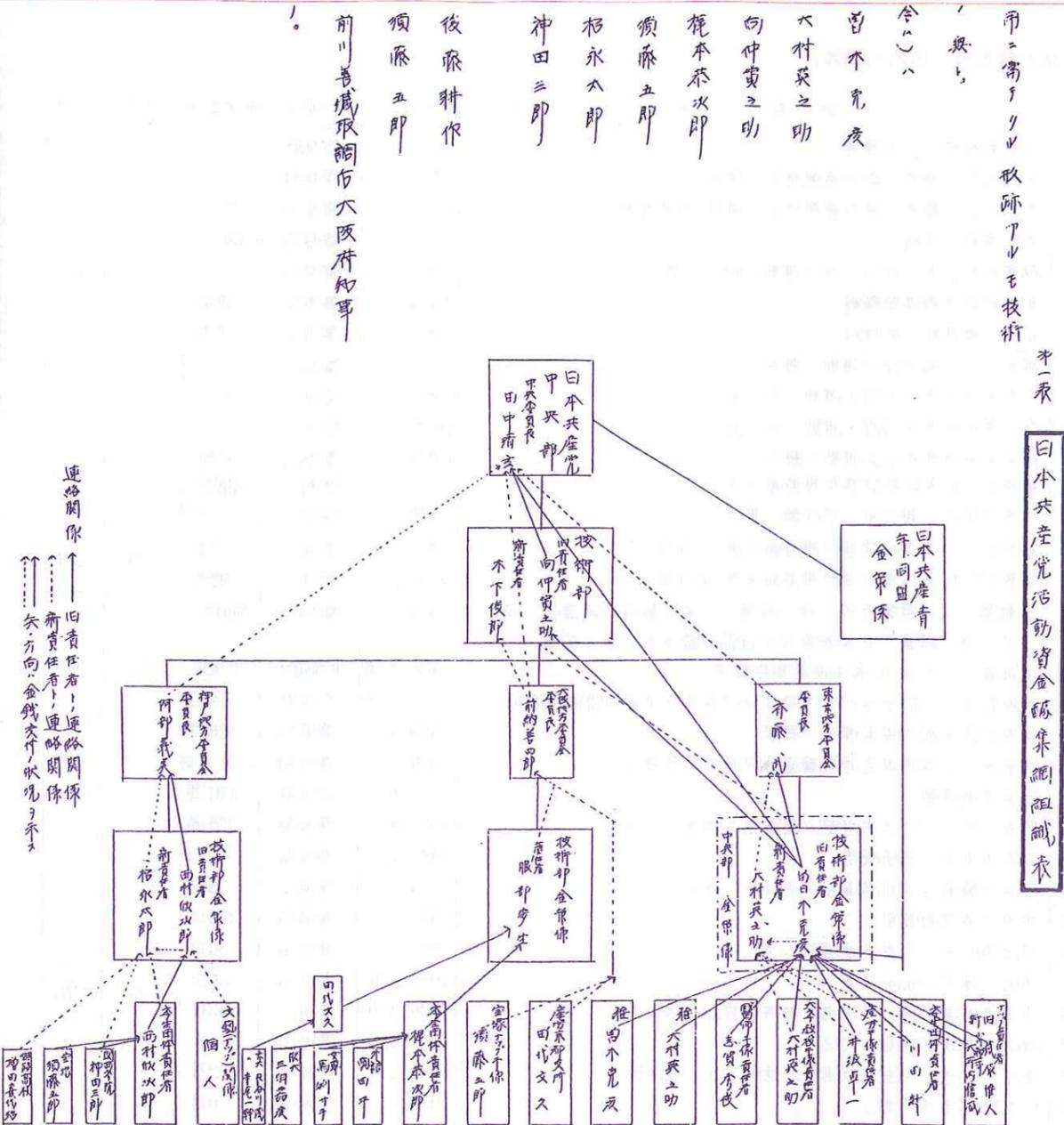
約一〇年前までは、社会運動研究の主流は、左翼運動とその肯定的評価にあり、これを反映して、『社会運動の状況』、『特高月報』、『思想月報』等々の官制秘密出版物の複製が相次いだことを思えば、今昔の感にたえない。

このような時代思潮下では、今、改めて秘密警察資料が複製されることに、奇異の感をいだく向きも少なくないのではないかと、思われる。しかし、わが国の左翼運動が教条主義・セクト主義に毒された大きな要因の一つが、人権を無視した秘密警察の弾圧、抑圧、スパイ政策などにあつたことを思えば、秘密警察の全体像を余すところなく暴露しておくことは、社会主義の評価がどのように変化しようとしても、民主主義擁護のための今日的課題である。

この資料集は、既刊のそれらとは趣きを異にし、対象とする時代と運動分野の幅を広げ、また地域に密着した「第一線の現場に近い資料群」を発掘していることで、新たな視点に立つて、特高警察体制の全体像を構築する研究の出発点になるものと確信している。

『特高警察関係資料集成』内容見本

原寸大(四面付方式の見本です)



●複製の辞

従来、特高警察に関する資料は、まとまった形で存在するものを中心に、大部分が複製されてきた。『社会運動の状況』、『特高月報』、『出版警察報』等々。しかし、元々内務省警保局が刊行した文書類は膨大であり、その内容を把握することさえ困難である。

- ①米軍没収資料・返還文書・旧陸海軍文書等を中心に、一般に公開されている関係資料を調査し、広義の特高関係資料(府県警察等を含む)を網羅的に収集する。
- ②これまでほとんど知られていなかった資料群——例えば米騒動関係、二〇年代の社会運動資料、三・一五事件関係など——を数多く含む。
- ③資料を十二のテーマにわけ、編年順に編集し、弾圧・抑圧の幅と興行を示すことにより、特高警察体制の全体像を提示する。
- ④『社会運動の状況』などの「整理」された資料と異なり、抑圧・取締りの第一線の「現場」に近い資料群を含み、抑圧・弾圧の実態をリアルに伝える。
- ⑤外事警察や出版警察、在日朝鮮人運動の抑圧・取締り関係などにおいては、従来公刊されてきた複製版・資料集の欠落を補完し、それぞれの全貌の理解が可能になるよう配慮する。

以上の編集方針のもと、収集した資料は二六三三点に及び、合計頁数は五万頁を超える分量となった。そのため弊社では、やむをえず判読可能な範囲において原本を五〇〜六〇％程度縮小し、四面付方式を採用した。また、マイクロフィルムが状態が悪く、文字ががすれて読みにくいところが多々あるが、最大限の努力と最新の複製技術を駆使して刊行する所存である。

歴史の風化が言われる今日、再度日本の暗部に光をあて、再び軍靴の音を聞くことのない社会を創るため、本資料集が役立つことを祈る。

不二出版

1. 共産主義運動 (国内・国外)

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
1-1	特別要視察人近況概要	1919.1	警保局	104コマ		
1-2	本邦社会主義者ト露国過激派トノ関係	1922.1	警保局	10コマ		
1-3	本邦社会主義者ト露国過激派トノ関係 参考書類	1922.1	警保局	22コマ		
1-4	赤化運動ノ実例	1922.1	警保局	18コマ		
1-5	秘密結社日本共産党一派ノ運動計画及予算	1922.1	警保局	5コマ	①	310
1-6	本邦社会主義運動概観	1924	警視庁	35頁		
1-7	社会主義運動ノ新傾向	1924.5	警視庁	30頁		
1-8	最近社会主義並社会運動ノ概況	1925.6	警保局	110丁		
1-9	全日本無産青年同盟ノ運動 (第一編)	1926.1	警保局	83丁		
1-10	全日本無産青年同盟ノ運動 (第二編)	1926.3	警保局	141丁		
1-11	社会主義運動並社会運動ノ概況	1928.1	警保局	83枚		
1-12	秘密結社日本共産党事件捜査顛末書	1928.2.11	警視庁	458頁		
1-13	日本共産党ノ創立並ニ其行動ノ概要	1928.3	警視庁	7丁	②	476
1-14	秘密結社日本共産党事件捜査顛末書 追加第一	1928.3.3	警視庁	312頁	③	476
1-15	秘密結社日本共産党事件捜査顛末書 追加第二	1928.3.10	警視庁	80枚		
1-16	労働農民党ノ組織及其ノ後ノ経過 日本労働組合評議会ノ成立ト其ノ後ノ経過 日本無産青年同盟組織及其ノ後ノ経過	1928.3	警保局	約100コマ		
1-17	北海道ニ於ケル 日本共産党事件顛末	1928.4.30	北海道庁	274頁	④	406
1-18	大阪府管内ニ於ケル日本共産党及日本青年共産同盟検挙概況	1928.4.30	大阪府	19頁		
1-19	秘密結社日本共産党事件ノ概要	1928.6	警保局	126枚		
1-20	秘密結社日本共産党再組織運動関係者検挙概況	1929.6	警保局	31枚6表		
1-21	社会主義運動	1929.10	埼玉県	110頁		
1-22	最近ニ於ケル日本共産党ノ運動並ニ検挙ノ状況	1930.6	警保局	275頁		
1-23	日本共産党ノ運動概要	1932.12	警保局	40頁		
1-24	日本労働組合全国協議会一斉検挙ノ概要	1933.11	警視庁	28枚		
1-25	共産主義運動概観	1934	警保局	200頁		
1-26	凋落期にある共産主義運動に対して	1935	警保局	30頁		
1-27	共産主義者の転向方策	1934~35	警保局	30頁		
1-28	共産党再建グループ其他ノ検挙ニ関スル件	1936.8.10	警視庁	43枚	⑤	378
1-29	所謂人民戦線運動ノ状況	1936.8.16	警保局	10枚		
1-30	最近ニ於ケル共産主義運動ノ動向ト其ノ危険性	1937.3	大阪府	72頁		
1-31	日本無産党事件概記	1938.5	兵庫県	40頁		
1-32	警視庁管下ニ於ケル共産主義運動ノ情勢ト検挙学生ノ取調状況	1939.4.20	警視庁	64頁		
1-33	九州各府県特高課々僚会議ニ於ケル体験談	1942.9.15	?	70頁		
1-34	特高資料第二輯「共産主義運動ノ視察取締ニ就テ」	1942.12.1	長野県	66頁		
1-35	最近の左翼事件に鑑み注意を要する事項	1943.11	警保局	18枚		
1-36	在米国邦人社会主義者ノ状況	1909.4	警保局	15丁		
1-37	米国ニ於ケル日本人社会主義者無政府主義者沿革	1911.7	警保局	206丁		
1-38	米国在留特別要視察人ノ状況大要	1918.1.20	警保局	20丁		
1-39	在外邦人過激主義者ノ状況	1922.7	警保局	15丁		
1-40	露国ヨリ帰還ノ邦人共産党員調	1925.12	警視庁	124枚		
1-41	赤化宣伝資料	1927	警保局	122コマ	⑥	416
1-42	在露共産大学ノ邦人主義者ニ対スル共産主義教育ほか	1929	外務省	34枚		
1-43	昭和三年中露領内に於ける対邦人赤化宣伝	1929	警保局	172頁		
1-44	佐野学逮捕関係	1929.6~9	外務省ほか	104枚		
1-45	聴取書 (岡繁樹)	1936.6・7	警視庁	33枚		

2. 無産政党運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
2-1	無産政党組織運動ノ顛末 (未定稿)	1925.11	警保局	182頁		
2-2	無産政党結社禁止ノ件	1925.12	内務省	27丁		
2-3	農民労働党禁止ニ対スル各方面ノ意嚮感想 (未定稿)	1926.1	警保局	350頁		
2-4	無産政党組織運動の沿革	1926.3	警視庁	359コマ	⑦	432
2-5	日本農民党創立運動ノ顛末	1926.10	警保局	17丁		
2-6	労働農民党一派ノ議會解散其ノ他ノ請願運動ノ状況	1926.11	警保局	39丁		
2-7	地方無産政党ノ概況	1926.12	警保局	56丁		
2-8	総選挙ニ於ケル無産政党ノ状況ニ関スル件 (第一報~第四報) 及ビ無産政党ノ選挙運動ニ関スル件	1928.1	北海道庁	34丁		
2-9	香川県ニ於ケル労働農民党ノ衆議院議員選挙運動及其後ノ情况並ニ之ニ対スル警察措置	1928.4	警保局	21丁		
2-10	出版法違反事件検挙ニ関スル件	1928.6.2	北海道庁	96丁		
2-11	道會議員選挙ニ於ケル無産派ノ運動状況ニ関スル件	1928.8.15	北海道庁	13丁		
2-12	無産政党結社禁止ニ関スル件	1928.12	内務省	10丁		
2-13	無産政党本支部状況表送付ノ件	1929.1.15	北海道庁	5丁		
2-14	結社禁止後ノ旧新党準備会員「行動規律」ニ関スル件	1929.1.18	北海道庁	6丁	⑧	458
2-15	無産政党運動	1929.10?	埼玉県	40頁		
2-16	労農同盟ノ状況	1929.10	警保局	53丁		
2-17	政治的自由獲得労農同盟全国準備委員会指令	1929.10	警保局	93丁		
2-18	政治的自由獲得労農同盟ニュース	1929.10	警保局	30頁		
2-19	無産政党綱領政策宣言集 付録 無産政党沿革概要	1933.10	警保局	108コマ		
2-20	新党準備会結社禁止理由	1940.4	警保局	50頁		
2-21	戦後無産政党関係申報 (全国)	1945.9~10	警視庁ほか	260丁		
2-22	戦後無産政党関係申報 (新潟県)	1945.9~10	新潟県	19丁		

3. 労働運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
3-1	労働争議概況	1918	警保局	活77頁		
3-2	労働団体概況	1919.10	警保局	112コマ		
3-3	労働争議の概況	1919.12	警保局	94頁		
3-4	労働団体ノ概況	1921.1	警保局	72丁		
3-5	労働争議ノ概況	1921.1	警保局	80丁		
3-6	大正十年労働運動概況	1922	警保局	活116頁		
3-7	労働団体概況 (其ノ二)	1922.1	警保局	29丁		
3-8	大正十年中労働争議ノ概況 (其ノ一, 其ノ二)	1922.1	警保局	19丁		
3-9	労働要視察人ノ概況	1922.1	警保局	10丁	⑨	544
3-10	軍備縮小問題ニ伴フ労働団体活動ノ概況	1922.1	警保局	8丁		
3-11	労働農民水平社団体系統調 (労働)	1927.1	警保局	6丁		
3-12	合資会社ハ林組製糸工場 労働争議概況	1928.4	警保局	25丁		
3-13	野田醤油株式会社 労働争議概況	1928.4	警保局	55丁		
3-14	第九回メーデー示威運動状況	1928.5.2	警視庁	13丁		
3-15	我国に於ける労働運動の現状	1929.2	司法省	活41頁		
3-16	本道ニ於ケル左翼労働組合運動沿革史	1931.6	北海道庁	274丁		
3-17	全協再建後ノ状況	1932.6	警視庁	38コマ		
3-18	労働運動並労働争議ノ状況及之ガ取締対策	1932.末	警保局	17コマ		

4. 農民運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
4-1	農業争議概況	1921.2	警保局	25頁		
4-2	小作問題発達ノ条件	1921.4	岐阜県警察部	450頁		
4-3	小作問題解決策	1921.4	岐阜県警察部	410頁	⑩	562
4-4	農業争議概要	1922.1	警保局	10頁		
4-5	最近ニ於ケル農業争議実況概要(統)	1922.1	警保局	35頁		
4-6	大正十年府県別農業争議(特異事項掲載)状況	1922.1	警保局	135頁		
4-7	農業争議警察取締状況	1922.1	警保局	20頁		
4-8	小作問題篇 其一	1922.5	岐阜県警察部	450頁		
4-9	小作問題篇 其二	1922.5	岐阜県警察部	500頁		
4-10	大正十一年ノ農業争議件数ニ就テ	1923.1	警保局	15頁		
4-11	最近ニ於ケル本邦農民運動概況	1925.1	警保局	79丁+7表		
4-12	最近ニ於ケル本邦農民運動概況 補遺	1925.1	警保局	20丁		
4-13	日本農民組合内部動揺ノ顛末	1926.5	警保局	22丁	⑪	398
4-14	農民運動取締ニ関スル件	1926.8	警保局	40頁		
4-15	労働農民水平社団体系統調(「農民」の部のみ)	1927.1	警保局	10頁		
4-16	農民運動戦線ノ分裂	1927.5	警保局	110頁		
4-17	大正十五年以降ニ於ケル主ナル小作争議ノ状況	1927.6	警保局	65頁		
4-18	宮城県桃生郡前谷地村小作争議ノ概況	1928.4	警保局	7丁		
4-19	特高警察資料(農民運動・労働運動)	1929.6	香川県	230頁		
4-20	特高警察資料(思想)	1929.6	香川県	176頁		
4-21	農村救済運動ノ状況	1932.7	警保局	160頁		
4-22	農山漁村救済運動ノ状況	1932.8以降	警保局	78頁		
4-23	農山漁村救済運動ノ状況	1932.9以降	警保局	106頁		
4-24	小作争議並農民運動ノ状況及之が取締対策	1932.末	警保局	16コマ		
4-25	最近ノ農村情勢と警察活動ノ概況	1936.1	警保局	237頁		

5. 水平運動・在日朝鮮人運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
5-1	差別撤廃運動状況	1922.5	警保局	24頁		
5-2	最近ニ於ケル水平運動	1927.1	警保局	46頁		
5-3	労働農民水平社団体系統調(「水平社」の部のみ)	1927.1	警保局	5頁		
5-4	朝鮮人情報 第一号	1922.1	警保局	46丁		
5-5	朝鮮総督府通報 朝鮮内外ニ於ケル情報	1922.1	警保局	8丁		
5-6	国外在住朝鮮人情況	1922.5	警保局	11丁	⑫	306
5-7	内地在住朝鮮人ノ最近ニ於ケル一般情況	1922.12	警保局	27丁		
5-8	義烈団一派ノ兇暴計画概要	1924.1.12	警保局	24丁		
5-9	最近ニ於ケル在留朝鮮人情況	1925.1	警保局	70丁+2表		
5-10	外桜田町ニ於ケル李奉昌不敬事件顛末	1932.5	警保局	37頁		
5-11	上海ニ於ケル尹奉吉爆弾事件顛末	1932.7	警保局	40頁		
5-12	内外に於ける不逞鮮人の策動状況	1936.9	警保局	24枚		
5-13	所謂朝鮮人軍官学校の概要	1936.9	警保局	39枚		
5-14	支那事变ニ伴フ不逞鮮人の策動状況	1937.9	警保局	78頁		
5-15	居るぞ! 不逞鮮人	1940.5	奈良県	26頁		
5-16	最近に於ける在支不逞朝鮮人の策動状況	1941.12	警保局	78頁		
5-17	内地在住朝鮮人ニ関スル諸問題ニ就テ	1944.11	京都府	10丁		

6. 国家主義運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
6-1	最近ニ於ケル国家主義運動情勢ニ関スル件	1931.11.5	警保局	15丁		
6-2	軍部事件ノ概要	1931.12.18	警保局	28頁		
6-3	国家社会主義? 国民社会主義政党ノ樹立計画ニ関スル件	1931.12.23	警保局	6丁		
6-4	不穏事件ニ関スル件報告	1932.5.15	警保局	36頁		
6-5	陸海軍々人等ノ不穏行動ニ関スル件	1932.5.15~5.20	警保局	55頁		
6-6	事件顛末	1932.5.15	警保局	30頁	⑬	462
6-7	海軍将校ヲ中心トスル不穏事件ニ関スル件	1932.5.18	警保局	17頁		
6-8	血盟団・兵農決死隊事件ノ概要	1932.7	警保局	55枚		
6-9	五・一五事件被告減刑運動ノ概要	1933.8.15	警保局	20頁		
6-10	警察賞与上申方ノ件ほか	1934.7.11	警視庁	182枚		
6-11	昭和六年迄に於ける非合法的な国家革新運動ノ概要	1935.	警保局	374コマ		
6-12	叛乱事件関係通牒	1936.2.~	警保局	370頁		
6-13	二・二六事件発生当時ニ於ケル右翼分子ノ動静ニ関スル件	1936.4.9	神奈川県	112頁		
6-14	最近ニ於ケル右翼運動情勢	1936.10	警保局	92頁		
6-15	最近ニ於ケル右翼運動情勢	1936.12	警保局	207頁		
6-16	政変を繞る右翼団体の運動	1937.4	警保局	373枚		
6-17	警察部長会議に於ける課長講演(右翼関係)	1939.5	警保局	9丁		
6-18	要注意国家主義系団体員ノ経歴等調査方ノ件	1939.7.29	警保局	46枚		
6-19	平沼國務相狙撃事件ノ概況並に国家主義運動ノ概況ほか	1941.9	警保局	20コマ	⑭	426
6-20	戦時下ニ於ケル国家主義運動取締ノ方針	1942.7	警保局	45頁		
6-21	特高実務研究会速記録 右翼関係	1942.9.18	警保局	約300頁		
6-22	近畿府県特高警察思想係(右翼)座談会要旨	1942.9.30	大阪府	291コマ		
6-23	警察部長会議ニ於ケル課長説明資料	1943.7.26	警保局	49コマ		
6-24	大日本勤皇同志会急進分子ノ不穏事件ノ概況	1943.10.16	警保局	6頁		
6-25	昭和十六年十二月八日以後ニ於ケル国家主義団体関係者ノ不穏事件検挙者及其ノ理由	1945.9.28	警保局	48コマ		

7. 外事警察関係

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
7-1	外国人取締概況	1920.1.15	警保局(?)	10コマ		
7-2	在留外国人並之ヲ取締概況	1921.1.27	警保局(?)	17コマ		
7-3	在留外国人概況	1921.12	警保局	150コマ		
7-4	外国人近況並取締概要	1922.1	警保局	48コマ		
7-5	外国人近況並取締概況	1922.5	警保局	48コマ	⑮	554
7-6	浦塩情報	1923.4.30	警保局	44丁		
7-7	外事警察概況	1926.1	福井県	66丁		
7-8	外事警察事務要覧 大正十五年度・昭和元年度	1927.初	警保局	156頁		
7-9	外事警察報 第一号	1927.5	警保局	150頁		
7-10	外事警察事務要覧 昭和二年度	1927.末	警保局	260頁		
7-11	中国共産党日本特別支部検挙事件	1929	警保局	55頁		
7-12	外事警察関係	1929.12	警保局	544頁		
7-13	昭和六年中ニ於ケル外事警察概要	1931.末	警保局	664頁	⑯	470
7-14	昭和七年中に於ける外事警察概要	1932.末	警保局	1,068頁+表		
7-15	昭和八年中に於ける外事警察概要	1932.末	警保局	1,388頁+表		
7-16	外国軍事情報採取法(特高資料第8輯)	1935.9	警保局	64頁+附図1		
7-17	支那事变下ニ於ケル外事警察ノ一般情況	1939.3	神奈川県	59頁		
7-18	大東亞戦争勃発ニ伴フ外事警察非常措置情況	1942.5	神奈川県	42頁	⑰	530
7-19	外事一般状況	1945.9	警保局	30コマ		

6. 国家主義運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
6-1	最近ニ於ケル国家主義運動情勢ニ関スル件	1931.11.5	警保局	15丁		
6-2	軍部事件ノ概要	1931.12.18	警保局	28頁		
6-3	国家社会主義? 国民社会主義政党ノ樹立計画ニ関スル件	1931.12.23	警保局	6丁		
6-4	不穩事件ニ関スル件報告	1932.5.15	警保局	36頁		
6-5	陸海軍々人等ノ不穩行動ニ関スル件	1932.5.15~5.20	警保局	55頁		
6-6	事件顛末	1932.5.15	警保局	30頁	⑬	462
6-7	海軍将校ヲ中心トスル不穩事件ニ関スル件	1932.5.18	警保局	17頁		
6-8	血盟団・兵農決死隊事件ノ概要	1932.7	警保局	55枚		
6-9	五・一五事件被告減刑運動ノ概要	1933.8.15	警保局	20頁		
6-10	警察賞与上申方ノ件ほか	1934.7.11	警視庁	182枚		
6-11	昭和六年迄に於ける非合法的な国家革新運動ノ概要	1935.	警保局	374コマ		
6-12	叛乱事件関係通牒	1936.2.~	警保局	370頁		
6-13	二・二六事件発生当時ニ於ケル右翼分子ノ動静ニ関スル件	1936.4.9	神奈川県	112頁		
6-14	最近ニ於ケル右翼運動情勢	1936.10	警保局	92頁		
6-15	最近ニ於ケル右翼運動情勢	1936.12	警保局	207頁		
6-16	政変を繞る右翼団体の運動	1937.4	警保局	373枚		
6-17	警察部長会議に於ける課長講演(右翼関係)	1939.5	警保局	9丁		
6-18	要注意国家主義系団体の員ノ経歴等調査方ノ件	1939.7.29	警保局	46枚		
6-19	平沼國務相狙撃事件ノ概況並に国家主義運動ノ概況ほか	1941.9	警保局	20コマ	⑭	426
6-20	戦時下ニ於ケル国家主義運動取締ノ方針	1942.7	警保局	45頁		
6-21	特高実務研究会速記録 右翼関係	1942.9.18	警保局	約300頁		
6-22	近畿府県特高警察思想係(右翼)座談会要旨	1942.9.30	大阪府	291コマ		
6-23	警察部長会議ニ於ケル課長説明資料	1943.7.26	警保局	49コマ		
6-24	大日本動皇同志会急進分子ノ不穩事件ノ概況	1943.10.16	警保局	6頁		
6-25	昭和十六年十二月八日以後ニ於ケル国家主義団体関係者ノ不穩事件檢舉者及其ノ理由	1945.9.28	警保局	48コマ		

7. 外事警察関係

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
7-1	外国人取締概況	1920.1.15	警保局(?)	10コマ		
7-2	在留外国人並之ヲ取締概況	1921.1.27	警保局(?)	17コマ		
7-3	在留外国人概況	1921.12	警保局	150コマ		
7-4	外国人近況並取締概要	1922.1	警保局	48コマ		
7-5	外国人近況並取締概況	1922.5	警保局	48コマ	⑮	554
7-6	浦塩情報	1923.4.30	警保局	44丁		
7-7	外事警察概況	1926.1	福井県	66丁		
7-8	外事警察事務要覧 大正十五年度・昭和元年度	1927.初	警保局	156頁		
7-9	外事警察報 第一号	1927.5	警保局	150頁		
7-10	外事警察事務要覧 昭和二年度	1927.末	警保局	260頁		
7-11	中国共産党日本特別支部檢舉事件	1929	警保局	55頁		
7-12	外事警察関係	1929.12	警保局	544頁		
7-13	昭和六年中ニ於ケル外事警察概要	1931.末	警保局	664頁	⑯	470
7-14	昭和七年中に於ける外事警察概要	1932.末	警保局	1,068頁+表		
7-15	昭和八年中に於ける外事警察概要	1932.末	警保局	1,388頁+表		
7-16	外国軍事情報採取法(特高資料第8輯)	1935.9	警保局	64頁+附図1		
7-17	支那事変下ニ於ケル外事警察ノ一般情況	1939.3	神奈川県	59頁		
7-18	大東亞戦争勃発ニ伴フ外事警察非常措置情況	1942.5	神奈川県	42頁	⑰	530
7-19	外事一般狀況	1945.9	警保局	30コマ		

4. 農民運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
4-1	農業争議概況	1921.2	警保局	25頁		
4-2	小作問題發達ノ条件	1921.4	岐阜県警察部	450頁		
4-3	小作問題解決策	1921.4	岐阜県警察部	410頁	⑩	562
4-4	農業争議概要	1922.1	警保局	10頁		
4-5	最近ニ於ケル農業争議実況概要(統)	1922.1	警保局	35頁		
4-6	大正十年府県別農業争議(特異事項掲載)狀況	1922.1	警保局	135頁		
4-7	農業争議警察取締狀況	1922.1	警保局	20頁		
4-8	小作問題篇 其一	1922.5	岐阜県警察部	450頁		
4-9	小作問題篇 其二	1922.5	岐阜県警察部	500頁		
4-10	大正十一年ノ農業争議件数ニ就テ	1923.1	警保局	15頁		
4-11	最近ニ於ケル本邦農民運動概況	1925.1	警保局	79丁+7表		
4-12	最近ニ於ケル本邦農民運動概況 補遺	1925.1	警保局	20丁		
4-13	日本農民組合内部動揺ノ顛末	1926.5	警保局	22丁		
4-14	農民運動取締ニ関スル件	1926.8	警保局	40頁	⑪	398
4-15	労働農民水平社団体系統調(「農民」の部のみ)	1927.1	警保局	10頁		
4-16	農民運動戦線ノ分裂	1927.5	警保局	110頁		
4-17	大正十五年以降ニ於ケル主ナル小作争議ノ狀況	1927.6	警保局	65頁		
4-18	宮城県桃生郡前谷地村小作争議ノ概況	1928.4	警保局	7丁		
4-19	特高警察資料(農民運動・労働運動)	1929.6	香川県	230頁		
4-20	特高警察資料(思想)	1929.6	香川県	176頁		
4-21	農村救済運動ノ狀況	1932.7	警保局	160頁		
4-22	農山漁村救済運動ノ狀況	1932.8以降	警保局	78頁		
4-23	農山漁村救済運動ノ狀況	1932.9以降	警保局	106頁		
4-24	小作争議並農民運動ノ狀況及之が取締対策	1932.末	警保局	16コマ		
4-25	最近ノ農村情勢と警察活動ノ概況	1936.1	警保局	237頁		

5. 水平運動・在日朝鮮人運動

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
5-1	差別撤廃運動狀況	1922.5	警保局	24頁		
5-2	最近ニ於ケル水平運動	1927.1	警保局	46頁		
5-3	労働農民水平社団体系統調(「水平社」の部のみ)	1927.1	警保局	5頁		
5-4	朝鮮人情報 第一号	1922.1	警保局	46丁		
5-5	朝鮮総督府通報 朝鮮内外ニ於ケル情報	1922.1	警保局	8丁		
5-6	国外在住朝鮮人情況	1922.5	警保局	11丁		
5-7	内地在留朝鮮人ノ最近ニ於ケル一般情況	1922.12	警保局	27丁	⑫	306
5-8	義烈団一派ノ兇暴計画概要	1924.1.12	警保局	24丁		
5-9	最近ニ於ケル在留朝鮮人情況	1925.1	警保局	70丁+2表		
5-10	外桜田町ニ於ケル李奉昌不敬事件顛末	1932.5	警保局	37頁		
5-11	上海ニ於ケル尹奉吉爆弾事件顛末	1932.7	警保局	40頁		
5-12	内外に於ける不逞鮮人の策動狀況	1936.9	警保局	24枚		
5-13	所謂朝鮮人軍官学校の概要	1936.9	警保局	39枚		
5-14	支那事変ニ伴フ不逞鮮人の策動狀況	1937.9	警保局	78頁		
5-15	居るぞ! 不逞鮮人	1940.5	奈良県	26頁		
5-16	最近に於ける在支不逞朝鮮人の策動狀況	1941.12	警保局	78頁		
5-17	内地在住朝鮮人ニ関スル諸問題ニ就テ	1944.11	京都府	10丁		

9-31	内務大臣答弁資料	1945.11	警保局	37頁		
9-32	非常時と思想対策	1934.4	奈良県警察部	62頁		
9-33	特高警察草案	1939頃	警保局	544頁		
9-34	特高警察に於ける視察内偵戦術の研究	1942頃	大阪府警察部	109頁		
9-35	特高警察実務必携	1945頃	京都府警察部	185頁		
9-36	長野県社会運動史	1939.2	長野県特高課	1769頁	㉑	476

10. 特高関係例規類

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
10-1	国事警察編	1886~94	警視庁	240頁		
10-2	例規(通牒)	1929	警保局	580頁	㉒	498
10-3	高等警察例規(下巻)	1933	山形県警察部	1010頁		
10-4	特高警察例規集	1935.8.13	岩手県高等課	118コマ		
10-5	特高警察例規集	1939.4.	警保局	730頁		
10-6	非常措置、通牒、治安対策一括	1941~43	警保局	46コマ		
10-7	非常措置ニ関スル参考通牒綴	1941~43	警保局	53頁		
10-8	防諜例規	1941	大阪府警察部	150コマ	㉓	468
10-9	外事警察執務要覧 第一輯	1942.5	警保局	111コマ		
10-10	外事警察内規	1943.1.1	北海道庁	265頁		
10-11	出版警察執務心得ほか	1935.12ほか	北海道庁	218頁		
10-12	出版警察執務要綱	1939.10	山形県特高課	52頁		
10-13	高等警察例規集	1931頃	警視庁	254頁	㉔	426
10-14	普通要視察人視察内規ほか	1935.9	警視庁	160頁		
10-15	情報係執務内規ほか	1936.11	警視庁	120頁		
10-16	行政警察例規集	1936.9	警保局	1000頁		

11. 特高関係各種会議

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
11-1	警察部長事務打合せニ於ケル指示事項説明資料	1927.7	警保局	87頁		
11-2	地方長官・警察部長会議書類	1934.5~ 1943.7	警保局	803頁	㉕	532
11-3	治安状況に於て(警察部長会議に於ける保安課長説明要旨)	1944.1	警保局	69頁		
11-4	茨城県署長・特高主任会議関係書類	1934~44	茨城県警察部 水戸地裁検事局	1043頁		
11-5	特高ブロック会議書類	1939.4	警保局	256頁		
11-6	特高課長ブロック会議説明資料	1943.6頃	警保局	148頁		
11-7	司法主任 特高主任 会議席上訓示指示及講演	1937.2	司法省刑事局	132頁		
11-8	司法主任 特高主任 会議諮問、協議事項	1937.2	司法省刑事局	235頁		
11-9	特高主任会議議事録(其ノ二)	1939.7	東京地裁検事局	75頁	㉖	388
11-10	中国、四国ブロック特高実務研究会	1942.9	岡山県	102頁		
11-11	道警察部長会議諮問事項	1934.4	朝鮮総督府	68頁		
11-12	道警察部長会議意見希望事項	1934.4	朝鮮総督府	35頁		
11-13	北支高等主任会議録	1940.3	北支警務部	229頁		
11-14	第一回中支警務部管下高等主任会議録	1941.3	在上海大使館 中支警務部	284頁		

8. 出版警察関係

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
8-1	自大正六年一月至大正八年四月禁止新聞紙出版物ニ現ハレタル記事ノ概要	1919	警保局	37コマ		
8-2	大正十年出版物より観たる国民思想の変遷	1921.10	警保局	21コマ		
8-3	出版警察現況概要	1927.5	警保局	70頁		
8-4	特別議会資料	1927.5	警保局	230頁		
8-5	自大正六年至大正十五年禁止要綱抄(安寧之部)	1927.12	警保局	約350頁		
8-6	各種社会運動機関紙調	1928.10	警保局	17丁		
8-7	第五八回特別議会答弁資料	1930.4	警保局	30頁	㉗	436
8-8	第五十九議会答弁資料	1930.12	警保局	190頁		
8-9	共産主義関係出版物取締ニ関スル意見要旨	1933.5	警保局	19頁		
8-10	第六十九回帝国議会説明資料	1936.5	警保局	110頁		
8-11	最近に於ける出版界の傾向	1939.6	警保局	13頁		
8-12	主要ナル記事編輯上注意事項調	1942.1.10	警保局	18頁		
8-13	新聞紙等掲載制限事項調	1943.5	情報局・警保局	180コマ		
8-14	出版警察概観	1943.5	警視庁	32コマ		

9. 特高関係重要資料

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
9-1	大正二年騒擾事件記録	1913	警視庁	250頁		
9-2	所謂米騒擾ニ関スル件	1918.8~10	警保局	65コマ		
9-3	八月騒擾ト其善後策	1918.9	守屋栄夫	28コマ		
9-4	我国に於けるデモクラシーの思潮	1918.11	警保局	160頁		
9-5	事変下に於ける国内思想運動其他	1938.10	警保局	41頁		
9-6	思想問題に就て	1939.6	警保局	60コマ		
9-7	口演資料	1939.9	警保局	26コマ		
9-8	最近の治安状況に就て	1940.12.17	警保局	55コマ		
9-9	現下の治安状況に就て	1941.4	警保局	68コマ		
9-10	現下の治安状況に就て	1941.7	警保局	50コマ		
9-11	現下の治安状況に就て	1943.4	警保局	23コマ	㉘	508
9-12	特高課事務概要	1939.8	宮崎県特高課	56頁		
9-13	特高情勢	1941.3	鹿児島県特高課	51頁		
9-14	内務省警保局保安課事務分担表	1937.3.27	警保局	1丁		
9-15	内務省警保局保安課事務分担表	1943.4.1	警保局	4コマ		
9-16	庁府県特高外事課長一覧表	1938.3.24	警保局	1丁		
9-17	地方庁特高事務分担表	1942.11	警保局	41頁		
9-18	特高関係警察官名簿	1940.11	長野県特高課	20頁		
9-19	社会運動団体現勢調(1932年6月末現在)	1932.10.20	警保局	143頁		
9-20	社会運動団体現勢調(1934年6月末現在)	1934.11.20	警保局	191頁		
9-21	社会運動団体現勢調(1935年6月末現在)	1935.12.20	警保局	215頁		
9-22	左翼右翼宣伝歌調	1934.4	警保局	89頁		
9-23	大本教治安維持法違反並不敬事件概要	1935.11	警保局	596頁		
9-24	満州国皇帝御来航ニ対スル特別警戒大綱	1935.2.3	神奈川県特高課	197頁		
9-25	陸軍特別大演習地方行幸私服警衛員心得	1936.9	北海道庁	97頁		
9-26	秘密結社農村青年社事件に関する功績概要	1937	長野県警察部	21頁		
9-27	第七十六回帝国議会参考資料	1941.1	警保局	90頁		
9-28	防諜講演資料	1941.4	警保局	49頁		
9-29	労働者ノ生活実態並思想動向ニ関スル件	1943.5.29	警視庁	42頁	㉙	600
9-30	最近に於ける不敬、反戦反軍、其他不穏言動の状況	1945.8	警保局	30頁		

" 7月分	" 7月	104頁	◎附録「我国に於ける所謂「団体交渉権」要求運動の概説」	
" 8月分	" 8月	64頁		
" 9月分	" 9月	41頁		
" 10月分	" 10月	60頁		
" 11月分	" 11月	41頁		
" 12月分	" 12月	61頁		
大正11年1月分	1922年1月	34頁		
" 2月分	" 2月	47頁		
" 3月分	" 3月	74頁		
" 4月分	" 4月	139頁		
" 5月分	" 5月	87頁		◎附録「労働組合主義ト社会主義」
" 6月分	" 6月	114頁		
" 7月分	" 7月	94頁		
" 8月分	" 8月	121頁	◎附録「京都沢田合金製作所労働争議」	
" 9月分	" 9月	107頁		
" 10月分	" 10月	103頁		
" 11月分	" 11月	95頁		
" 12月分	" 12月	125頁		

12-6 特高時報 大阪府

巻 号 数	発 行 年 月	頁 数	備 考
第2巻第2号	1930年2月	24頁	
" 第3号	" 3月	12頁	
" 第4号	" 4月	28頁	
" 第5号	" 5月	24頁	
" 第7号	" 7月	20頁	
" 第8号	" 8月	20頁	
" 第9号	" 9月	30頁	
" 第10号	" 10月	20頁	
" 第11号	" 11月	32頁	
" 第12号	" 12月	26頁	
第3巻第1号	1931年1月	26頁	
" 第3号	" 4月	50頁	
" 第8号	" 8月	72頁	

—— 以上、復刻版㊟巻所収

12-7 特高半年報 警保局

仮 番 数	発 行 年 月	頁 数	備 考
(1)	1935年12月	164頁	
(2)	1936年6月	150頁	
(3)	1936年12月	216頁	
(4)	1937年6月	242頁	
(5)	1937年12月	252頁	
(6)	1938年6月	180頁	
(7)	1938年12月	186頁	

12-8 反美濃部運動ノ概況 警保局

号 数	発 行 年 月	頁 数	備 考
1	1935年3月5日	50頁	
2	" 3月8日	44頁	
3	" 3月11日	54頁	
4	" 3月14日	34頁	
5	" 3月18日	70頁	
6	" 3月22日	86頁	
7	" 3月26日	92頁	

12. 特高関係逐次刊行物

12-1 普通選挙促進運動概況 警保局

資 料 名	発 行 年 月 日 等	丁 数	備 考
(1)最近ニ於ケル選挙法改正ニ関スル新聞雑誌ノ論調	1918.10.1~1919.1.17	14丁	
(2)選挙法改正問題ニ関スル新聞雑誌論調(其ノ二)	1919.2.9	15丁	
(3)普通選挙運動ニ関スル現況概要(第二)	1919.2.10	6丁	
(4)普通選挙促進運動概況	1920.1.10	22丁	
(5)" 第三報	1920.2.5	9丁	
(6)" 第四報	1920.2.7	5丁	
(7)" 第五報	1920.2.10	6丁	
(8)" 第六報	1920.2.12	7丁	
(9)" 第八報	1920.2.18	7丁	
(10)普通選挙促進運動梗概	1920.2.16	7丁	
(11)普通選挙促進運動概況	1920.3	11丁	

12-2 社会主義運動月報 警保局

冊 数	収 録 期 間	頁 数	備 考
第1冊	1921年6月	50頁	
第2冊	" 7・8月	46頁	
第3冊	" 9月	50頁	
第4冊	" 10月~12月	118頁	
第5冊	1922年1月~4月	80頁	◎第5冊のみ「社会主義運動情報」

12-3 労働団体及労働争議情報 社会局

回 数	収 録 期 間	丁 数	備 考
大正10年第9回	1921年5月1日~5月15日	37丁	
" 第10回	" 5月16日~5月31日	18丁	
" 第11回	" 6月1日~6月10日	35丁	
" 第12回	" 6月11日~6月20日	20丁	
" 第13回	" 6月21日~6月30日	14丁	
" 第14回	" 7月1日~7月15日	41丁	
" 第15回	" 7月16日~7月31日	42丁	
" 第16回	" 8月1日~8月15日	25丁	
" 第17回	" 8月16日~8月31日	11丁	
" 第18回	" 9月1日~9月15日	7丁	
" 第19回	" 9月16日~9月30日	26丁	
" 第20回	" 10月1日~10月15日	20丁	
" 第21回	" 10月16日~10月31日	23丁	
" 第22回	" 11月1日~11月11日	16丁	
" 第23回	" 11月12日~11月30日	19丁	
" 第24回	" 12月1日~12月10日	22丁	

12-4 労働彙報 警視庁

号 数	発 行 年 月	頁 数	備 考
第4号	1921年12月	148頁	◎ほかに、第3, 6~12, 15~17号が確認されている。
第5号	1922年1月	52頁	

—— 以上、復刻版㊟巻所収

12-5 本邦労働運動月報 警保局

表 紙 の 表 示	発 行 年 月	頁 数	備 考
大正10年4月分	1921年4月	34頁	
" 5月分	" 5月	39頁	
" 6月分	" 6月	39頁	

8	" 4月4日	90頁	◎14集以降、タイトル変更 「所謂機関説反対運動ノ概況」
10	" 4月23日	133頁	
12	" 5月11日	104頁	
13	" 5月31日	38頁	
14	" 6月上旬～7月下旬	66頁	
15	" 8月上旬～8月下旬	84頁	
16	" 9月上旬～9月下旬	102頁	

—— 以上、復刻版◎巻所収

12-9 北支〔支那〕事変ニ関スル情報 警保局

表紙の表示	発行年月	丁数	備考
其 2	1937年 8月12日	83丁	◎其6以降、タイトル変更 「支那事変ニ関スル情報」
其 4	" 8月26日	72丁	
其 6	" 9月9日	79丁	
其 10	" 10月7日	98丁	
其 13	" 11月30日	84丁	
其 14	" 12月20日	56丁	
其 15	1938年 1月15日	45丁	
其 16	" 1月31日	58丁	
其 17	" 2月15日	22丁	
其 18	" 2月28日	23丁	
其 19	" 3月15日	20丁	
其 20	" 3月31日	21丁	

12-10 特高月報(原稿) 警保局

号数	発行年月	頁数	備考
巻号数不明	1945年	287頁	

12-11 思想旬報 警保局

号数	発行年月	頁数	備考
第1号	1945年 4月10日	14頁	
第2号	" 4月20日	17頁	
第3号	" 4月30日	22頁	
第7号	" 6月10日	28頁	
第31号	" 7月20日	14頁	
第31号別冊	" 7月20日	15頁	
号外	" 7月29日	25頁	

12-12 特高指針 警保局

号数	発行年月	頁数	備考
第10号	1945年 8月1日	20頁	

12-13 管内治安概況 中支警務部

号数	発行年月	頁数	備考
4月分	1940年 4月	11丁	
5月分	" 5月	43頁	

12-14 管内治安月報 上海総領事館警察署

号数	発行年月	頁数	備考
6月分	1940年 6月	101頁	

—— 以上、復刻版◎巻所収

●内務省警保局刊行物復刻版

既刊近刊

(表示価格は全て消費税を含んでおりません)

内務省警保局 編〔昭和3年～昭和19年刊〕
出版警察報 全40巻・補巻1・付録1

付録II 出版警察関係資料 解説(由井正臣・赤沢史朗・北河賢三・豊沢 肇・総目次
A5判・上製・函入・総27、950頁
揃定価475、000円
'82年4月配本完結〔復刻版〕

内務省警保局 編〔大正13年～昭和19年刊〕
外事警察報 全67巻・別冊1

別冊II 解説(石堂清倫)・総目次・索引
A5判・上製・函入・総約42、000頁
揃定価990、000円(配本毎90、000円)
'87年5月～'89年2月配本完結〔復刻版〕

内務省警保局 編〔大正14年～昭和19年刊〕
映画検閲時報 全40巻

解説(牧野 守) 付き
A5判・上製・函入・総23、200頁
揃定価520、000円
'85年1月～'86年5月配本完結〔復刻版〕

内務省警保局 編〔昭和10年～昭和15年刊〕
出版警察資料 全15巻・付録1

付録II 出版警察関係資料 解説(由井正臣・赤沢史朗・北河賢三・豊沢 肇・総目次
A5判・上製・総8、538頁
揃定価147、000円
'82年9月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編〔昭和10年～昭和17年刊〕
外事警察概況 全8巻

解説(石堂清倫) 付き
A5判・上製・函入・総4、220頁
揃定価95、000円
'87年9月刊〔復刻版〕

内閣大礼記録編纂委員会 内務省警保局・内務省衛生局 刊
昭和大礼記録資料 全4巻・別冊1

別冊II 解説(西秀成・荻野富士夫・藤野 豊)
B5判・上製・総2、512頁
揃定価95、000円
'90年10月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編〔大正9年～昭和11年刊〕
出版警察関係資料集成 全8巻

A5判・上製・函入・総4、070頁
揃定価120、000円
'86年4月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編〔昭和11年～昭和13年刊〕
**海外よりの
左翼宣伝印刷物集 全3巻**

解説(石堂清倫) 付き
A5判・上製・函入・総1、634頁
揃定価28、000円
'84年11月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編〔昭和13年～昭和19年〕
外事月報 全11巻

(昭和13年8月より、『特高外事月報』より分離)
解説(荻野 富士夫) 付き
A5判・上製・総3、900頁
揃定価165、000円
'94年5月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編〔昭和5年～昭和10年刊〕
出版警察概観 全3巻・付録1

付録II 出版警察関係資料 解説(由井正臣・赤沢史朗・北河賢三・豊沢 肇・総目次
A5判・上製・函入・総2、462頁
揃定価75、000円
'88年4月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編
昭和政党政治関係資料 全4巻

伊香俊哉・倉敷伸子 解説
A5判・上製・函入・総1、670頁
揃定価40、000円
'88年7月刊〔復刻版〕

内務省警保局 編〔昭和10年～昭和19年〕
外事警察資料 全4巻

解説(荻野 富士夫) 付き
A5判・上製・総1、300頁十表多数
揃定価60、000円
'94年5月刊〔復刻版〕

特高警察関係資料集成 全30巻

別冊1

●復刻版概要

体裁—A4判・上製クロス装
 四面付方式を基本とす
 総頁数14、300頁

原本—所蔵機関・個人等30余
 全263点(約5万6千頁余)の
 原資料を全12編に編集

配本—全11回配本 '91年6月・'94年6月

解説—荻野富士夫(小樽商科大学教授)
 各巻の巻頭に収録

別冊—『特高警察関係資料解説』

本資料集成の収録資料の一覧が可能な年表、各資料相互の関連を含む「解説」、
 『外事月報』『外事警察資料』の解説、及び
 本資料集成の解説を再録。又、全資料の
 索引と共に米軍没収資料マイクロファイル
 △の所蔵機関別記号一覧表を付す。
 B5判・上製函入・約400頁
 本体価格225,000円(分売可)
 荻野富士夫著

価格—全30巻・別冊1揃価格

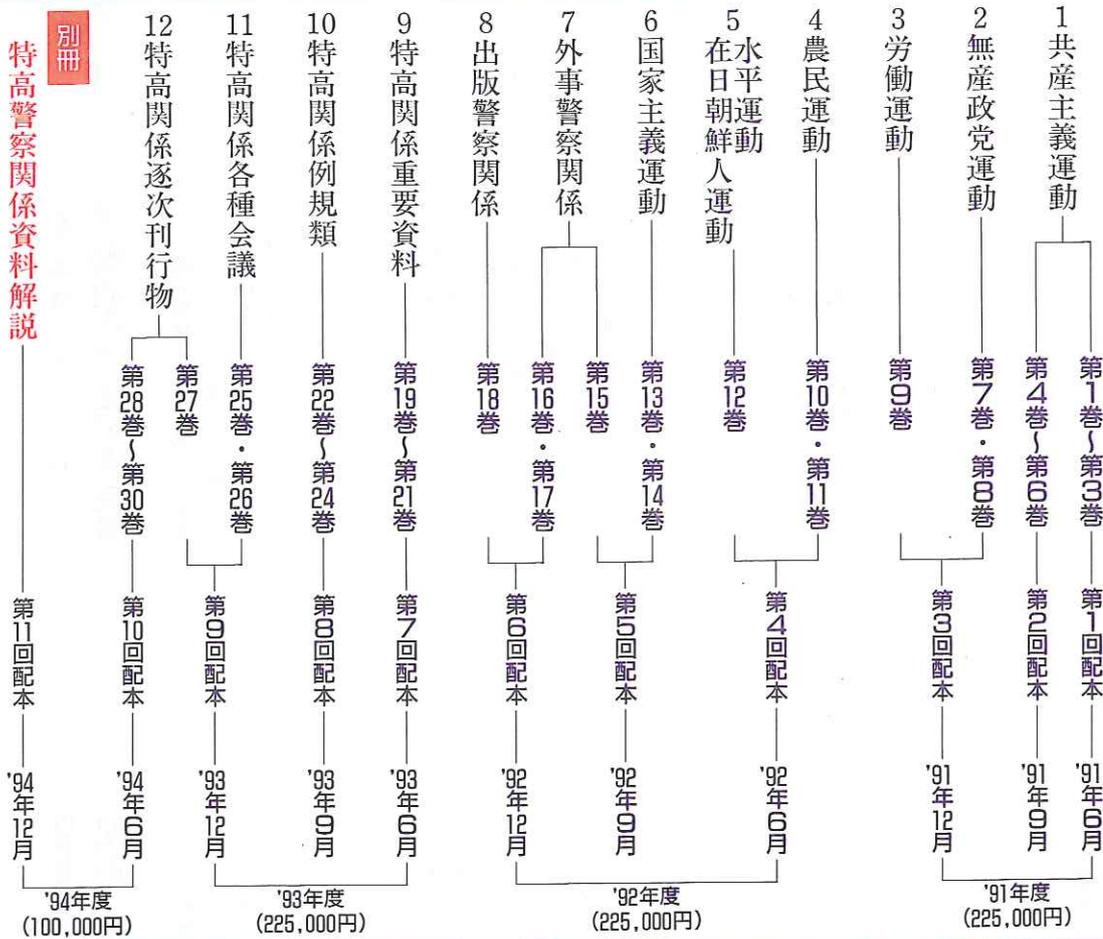
775,000円(本体価格)

構成内容

収録巻数

配本回数

配本年月



本カタログ中の表示価格は、全て消費税を含んでおりません。

不二出版

東京都文京区向丘一丁目二二
 TEL 〇三―三八―二二四四三三
 FAX 〇三―三八―二二四四六四
 振替 〇三―三八―二二四四六四
 振替 (東京) 六一九四〇八四

※弊社は注文制です。お近くの書店へご注文下さい。